

【提出様式】

まちづくり交付金の事前評価チェックシート

地方整備局名：関東地方整備局

都道府県名：長野県

市町村名：御代田町

地区名：御代田地区

I. 目標の妥当性

チェック欄

①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と合致している。 (該当するものに○) 1. 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 5. 観光・交流 6. アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他	<input type="radio"/>
2) 上位計画との整合性が確保されている。 (該当するものに○) 1. 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 8. 中心市街地活性化計画 9. その他	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	<input type="radio"/>
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	<input type="radio"/>

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容との整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>

III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた気運がある。	<input type="radio"/>
2) 住民・民間事業者と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>

【提出様式】

事業効果分析結果シート

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名
関東地方整備局	長野県	御代田町	御代田地区

○事業効果の分析について

選択欄 (該当するものに○)	事業効果の分析方法	分析結果		
○	① 1世帯あたりの事業費を示し、住民の賛同を把握した。	総事業費/世帯 (円)		賛同率 (%)
		539円/世帯		
	② 事業全体の便益をCVM法を用いて把握した。	便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1
	③ その他の方法(個別事業単位でのB/C)で把握した。	※下表に記入のこと		
	④ 交付対象事業費が10億円未満			

その他の方法(個別事業単位でのB/Cの場合)

事業区分	施設名 (箇所名/路線名など)	事業費 (百万円)	費用便益分析実施状況 (該当するものに○)※2				便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1 ※3
			継続事業の場合		新規事業の場合				
			A	B	C	D			
合計									

注) ※1費用便益比は四捨五入により小数点以下第2位まで記入

※2及び※3の記入要領

ケース	※2の該当区分	※3への記入方法
A	事業が継続事業で、費用便益分析を実施済みなもの	費用便益比(値)を記入
B	事業が継続事業で、事業評価制度導入前の採択のため、費用便益を実施していないもの(ただし、再評価の実施要件に該当していないもの)。	「1.00」を記入
C	事業が新規事業で、それぞれの事業毎の既往の方法により費用便益分析を実施したもの	費用便益比(値)を記入
D	費用便益分析手法が開発されていないため、費用便益分析を実施しないもの。	「1.00」を記入

○民間投資等による波及効果について

事業名	事業箇所名	事業主体	全体事業費 (百万円)	規模	確認の方法

【市町村控え】

目標を定量化する指標と事業の関係検証シート

この様式は、都市再生整備計画に記載した目標、整備方針、事業と目標を定量化する指標及び数値目標との関係を検証するための様式です。国への提出は不要ですが、必ず作成し、市町村で保管してください。

都道府県名	市町村名	地区名
長野県	御代田町	御代田地区

まちづくりの目標(注1):
 大目標:「充実した子育て環境の形成と多様な世代が安心・安全に暮らせるまちづくり」
 小目標①:安心して通行できる交通体系の構築
 小目標②:災害に強い安全なまちづくり
 小目標③:子どもがいいきと育つまちづくり

整備方針 (注2)	対応関係 (注4)	事業所・箇所名 (注3)	目標を定量化する指標(注5)				
			指標1	指標2	指標3	指標4	指標5
			身近な生活道路の安全性に対する満足度	御代田町総合防災訓練参加者数	児童館の年間利用者数		
1. 通学路や公共公益施設に至る生活道路の整備による定住環境整備を図る。 2. 幹線道路や生活道路、及び排水路の整備による防災機能の強化を図る。 3. 児童館やレクリエーション施設の充実により、遊びを通じた子どもの健全育成を図る。	→	塩野御代田停車場線	○	○			
		児玉荒町線	○	○			
		上ノ林児玉線	○	○			
		小田井追分線②	○	○			
		上ノ林大久保線②	○	○			
		塩野区内線①	○	○			
		塩野区内線②	○	○			
		上小田井雪窓線	○	○			
		久能梨沢線	○	○			
		三ツ谷清万線	○	○			
		南浦3号線	○	○			
		谷地沢大塚線	○	○			
		東林大林線	○	○			
		広戸御代田停車場線	○	○			
		中籠西駒込線	○	○			
		龍神の杜公園			○		
		西軽井沢水原排水路			○		
		七口除沢排水路			○		
		大林児童館				○	
東原児童館				○			
事業効果分析(事後評価調査)							

記載要領

- 注1: 都市再生整備計画に記載した目標を簡潔に記載してください。
 注2: 都市再生整備計画に記載した整備方針を1項目ごとに簡潔に記載してください。
 注3: 都市再生整備計画に記載した実施予定の事業について、事業名・箇所名の欄に記載してください。
 注4: 事業方針と事業名・箇所名について、対応関係を線で結んでください。
 注5: 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標を記載してください。
 事業ごとに下表の基準に則り結果を記載してください。

表 指標と事業の関係シートの評価基準

評価の基準	結果の記載
事業が指標の直接的改善になる。	○
事業が指標を直接改善しないが、間接的に改善することが見込まれる。	△
事業を行っても指標の直接的、間接的改善につながらない。	×

【市町村控え】

都市再生整備計画の妥当性検証シート

※この様式は、市町村が自ら都市再生整備計画の妥当性を検証するためのチェックシートであり、国への提出様式ではありません。

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名
関東地方整備局	長野県	御代田町	御代田地区

I. 目標の妥当性

①都市再生基本方針との整合性	チェック欄	内容欄
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 ① 中心市街地活性化 ③ 少子高齢化 5. 観光・交流 7. 交通利便性 9. 地域コミュニティ ② 防災 ④ 人口定着 6. アメニティ 8. 都市活力 10. その他	○	【目標を転記】 大目標:「充実した子育て環境の形成と多様な世代が安心・安全に暮らせるまちづくり」 小目標①:安心して通行できる交通体系の構築 小目標②:災害に強い安全なまちづくり 小目標③:子どもがいきいきと育つまちづくり
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 ① 市町村総合計画 3. 都市再生緊急整備地域 5. 地域再生計画 7. 被災市街地 9. その他 2. 都道府県長期計画 4. 構造改革特別区域 6. 全国都市再生モデル調査 8. 中心市街地活性化計画	○	【計画書名・発行年】 第4次御代田町長期振興計画 後期基本計画 (平成23年3月策定)
②地域の課題への対応	チェック欄	内容欄
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。 ・地域の課題とまちづくりの目標の整合性について、記入する。	○	【地域の課題を略記】 ・合計特殊出生率の高い本町として、子ども達をはじめ高齢者が安全に通学・通行できる道路交通環境の整備し安心安全なまちづくりが課題である。 ・本町の北部は急峻な地形であり、地表面雨水の排水能力不足による洪水がしばしば起こっているため、排水能力不足の水路の整備が課題である。 ・子ども達がいきいきと健全に育っていく環境を整え、定住基盤の形成を推進することにより、将来のまちづくりの担い手を確保することが課題である。
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。 ・都市再生緊急整備地域 ・構造改革特別区域 ・地域再生計画 ・全国都市再生モデル調査 ・被災市街地復興推進地域 ・中心市街地活性化基本計画 ・その他	○	【計画書名・発行年】 ・御代田町「水と緑」のまち再生計画(平成17年6月17日認定)

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容との整合性等	チェック欄	内容欄
<p>1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標と指標の整合性について、記入する。 ・まちづくりの目標と数値目標の整合性について、記入する。 ・まちづくりの目標を表現する指標・数値目標の設定の工夫があれば、記入する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標① 安心して通行できる交通体系の構築」については、身近な生活道路整備が中心となることから住民の満足度とし、第1期事業である程度地域の道路整備が進んでいることも考慮して設定している。 ・「目標② 災害に強い安全なまちづくり」については、洪水対策としての水路整備で住民の目に見える事業であることから毎年防災の日を実施する総合防災訓練への参加者数とし、大災害直後の防災意識が年々風化していくことを考慮して目標値を設定した。 ・「目標③ 子どもがいきいきと育つまちづくり」については、児童館整備を主体としていることから児童館利用者数の合計とし、将来の子ども数の減少率も考慮して数値目標を設定した。
<p>2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標・数値目標と事業内容の整合性について、記入する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業については、公共公益施設へのルートや通学路を中心としており、日常の交通安全や災害時の安全な避難ルート形成に寄与することから整合性が確保されている。 ・排水路整備は住民の目に見える事業で、防災意識高揚の効果が見込めることから、総合防災訓練参加者数の指標と数値目標は整合性が確保されている。 ・児童館の増築や公園の舗装改修は、親子のふれあい等を盛んにすることで子どもの健全育成を図るものであることから児童館イベントの参加者数も含めた利用者数の指標と目標値は整合性が確保されている。
<p>3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標及び事業内容と計画区域との整合性について、まちづくりの集中と選択がなされているかを記入する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画区域内に本町の住宅地や避難所としても利用される公共公益施設が集中しており、日常的な利用利便性を高めるとともに、避難所への安全なアクセスルートとして整備することにより定住環境が整った地区を形成する。
<p>4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的な指標・数値目標の市民理解の可能性について、記入する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果や、施設利用者数という単純な統計結果を指標・数値目標としているため、市民の理解が得やすいものとなっている。
<p>5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の枠組みにとらわれない先導性 ・地域資源を活用した事業 ・既存施設の有効活用・再生利用 ・ハード事業、ソフト事業連携で効率的実施 ・他省庁事業や民間事業を関連事業で連携 ・住民・NPO等のまちづくり活動と協働 ・その他 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・龍神の杜公園は、本町の歴史の伝承の場であり、全ての人に使いやすい公園とすることにより、児童館の親子イベント等の独自活動の拡大整備を図るものである。
④事業の効果	チェック欄	内容欄
<p>1) 十分な事業効果が確認されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の分析結果について、「費用対効果分析シート」より、分析手法(①から④)をチェック欄に、分析結果(賛同率、費用便益比)を記入する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートから●%の賛同を得ている。
<p>2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹事業間、基幹事業と提案事業及び基幹事業と関連事業間の相乗効果による、目標の達成の可能性向上について記入する。 ・事業地区の周辺や関連する事業領域への波及効果の見込みについて記入する。 ・民間企業等の投資の見込みがあれば内容等を略記する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業によって子ども達の通学路の安全性を高めることにより、若い保護者世代に災害時の避難ルート等の啓発を行い、防災意識の向上につなげる。

Ⅲ. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	チェック欄	内容欄
1) まちづくりに向けた気運がある。 ・地元のまちづくりに向けた気運について、記入する。	○	・町の福祉関係課や社会福祉協議会との連携を図り、核家族や仕事している両親をサポートするファミリーサポート協力会員の活動と児童館との協力の構築を検討している。
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 ・事業内容についての住民等の協力があれば、具体的に記入する。	○	・拡幅を必要とする道路事業については、土地所有者の理解を得て円滑な事業遂行が可能となっている。
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 ・住民等のまちづくり活動の実績があれば、具体的に記入する。	○	・馬瀬口バイパスと町道塩野馬瀬口線との交差点部分に、住民がツツジやサツキを植栽し・管理する「馬瀬口のエントランスを花いっぱいにする事業」が実施されており、今後の道路整備にあわせて住民のまちづくり活動が展開することが期待できる。
⑥円滑な事業執行の可能性	チェック欄	内容欄
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 ・都市計画決定、事業認可手続き済み ・市町村議会への報告、了解 ① 計画区域内の住民の合意 ・関連事業等の施行予定者の同意 ・その他	○	・計画内容は住民アンケートで公表し同意を得ている。
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 1. モニタリング ② 庁内モニタリング 3. まちづくり協議会 4. 継続的広報 5. その他	○	・総合防災訓練参加者数や児童館利用者数については、毎年の統計的把握が可能のため、事業実施後のモニタリングを実施する。
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。 ・住民等との計画合意について記入する。 ・広報誌等による住民側へ周知を行っている場合、具体的に記入する。 ・説明会等による住民側へ説明を行っている場合、具体的に記入する。	○	・計画内容については、アンケートによって一部ではあるが市民(無作為抽出1,000人)に周知を行っている。 ・本都市再生整備計画が国に採択された時点で町の広報誌に制裁して周知を図ることとしている。